

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
川中地区

平成22年11月

山口県下関市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	都市緑化率	%	6.2	11.5	11.5	確定 見込み ●	○	あり なし	11.5	H22年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	学校、公園、植樹帯などが整備でき、新下関西地区を中心として緑を生かした快適な住環境の形成が図られた。
指標2	区域内人口	人	1,800	2,400	2,400	確定 見込み ●	○	あり なし	2,600	H22年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業等の実施により良好な宅地を供給するとともに、幹線道路整備により利便性が向上した。また、道路沿道に地域住民が利用する商業・業務施設の立地が進み、住環境の向上が図れ、区域内の人口増加を促進できた。
指標3	区域通過所要時間	分	10	6	6	確定 見込み ●	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	都市計画道路長府綾羅木線の部分開通(全体の7割)により区域内の通過所要時間を短縮でき、東西方向の交通網の強化を図ることができた。
指標4	狭隘道路延長	m	4,680	471	180	確定 見込み ●	○	あり なし		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	狭隘道路を改善することにより、災害時の避難や救助活動などの防災対策の充実を図り、安全性の強化を図ることができた。
指標5	浸水区域	ha	1.78	0	1.78	確定 見込み ●	△	あり ● なし	0	H22年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新たな排水施設の整備完了により浸水被害を解消し、安全性を確保することができた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	宅地整備率	%	6.4	/	43.0	確定 見込み ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業等の実施により利便性、快適性が向上した宅地が増大し、良好な住環境が形成された。
その他の数値指標2	道路整備率	%	10.2	/	22.0	確定 見込み ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	既成市街地における狭隘道路の再整備及び新市街地における適切な道路整備ができ、安全でかつ利便性の良い道路網が形成できた。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み ●	/	/	/	H 年月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	快適で利便性が高い住環境の保全、充実	地区西部において土地区画整理事業を促進し、市街地の整備を実施する。	現在土地区画整理事業が施行中であるが、事業が進むにつれ、少しずつ効果が現れつつある。	今後住民との協働による公園整備を行う予定。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	既成市街地における防災性、快適性の向上	地区西部において土地区画整理事業を促進し、市街地の整備を実施する。	現在土地区画整理事業が施行中であるが、事業が進むにつれ、少しずつ効果が現れつつある。	地区全体の防災性、快適性の向上を図るため、引き続き土地区画整理事業の早期終了を目指して、市街地の整備を行う。
	幹線道路体系の確立と生活交通の利便性・安全性の確保	土地区画整理事業による基盤整備と市街地環境の整備を図る。	実施中	関連事業の早期完成へ向けて、協力・働きかけを行う。
	より安全な雨水処理施設の充実	排水路整備事業を実施する。	実施中	関連事業の早期完成へ向けて、協力・働きかけを行う。
	安全性の向上と安心できる環境づくり	実施していない。	—	第二期整備計画での実施の検討を行う。
	持続的なまちづくり活動の促進	第二期整備計画にて実施予定	—	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画（精算報告）

かわなか ち く
川中地区

やまぐちけん しものせき し
山口県 下関市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山口県	市町村名	下関市	地区名	川中地区	面積	85 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標	
大目標: 都市基盤施設の整備を行い、新市街地の形成と既存市街地の再構築及び交通網の整備改善による利便性の向上	
目標1	緑を生かした快適住環境のまちづくり
目標2	市内東西方向の幹線道路のネットワークを強化する

目標設定の根拠	
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、JR山陽本線新下関駅とJR山陰本線綾羅木駅の間に位置し、既存市街地と新市街地(施行中)により構成されている。 ・既存市街地には、川中幼稚園・小・中学校、川中公民館などの公共施設があるが、ミニ開発等により道路等の公共施設整備が不十分なまま、無計画に住宅化が広がるスプロール化が進んでおり、道路幅員は狭く行き止まり等が存在し、生活のための都市基盤整備が遅れている。 ・新市街地(施行中)部分については、施行前、幅員1m程度の農道があるだけの農耕地であったが、現在、民間による土地区画整理組合が設立され施行中である。 ・地区内には、幼稚園、小学校、中学校等の公共施設があるが、通学路の整備、公園等の整備が遅れている。 ・JR新下関駅と国道191号線との連絡道路(市道川中伊倉町18号線W=4~10m)が、狭小であり、既存住宅地を通過する者や、生活者にとって危険な状態にあるため、幹線道路の早期整備が望まれている。 ・区域の隣接には2級河川綾羅木川があり、護岸には綾羅木川コスモス街道が設置され、地域ぐるみ(川中小・中学校及びふるさと川中協議会等)で清掃・空き缶拾いやコスモスの苗植え・コスモス祭りなどが行われ、地域住民に潤いと安らぎを与える場として親しまれている。 	

課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・本地区は、ミニ開発等により地区全体が整合性の図れていない市街化が進んでおり、道路幅員も狭く、防災面でも安全性に問題がある。また、公共下水道、公園緑化施設等の基盤整備が遅れているため、新市街地と合わせ計画的なまちづくりを行う必要があり、地区内にある幼稚園・小学校・中学校・公園等の公共施設を中心とした一体的な整備と、潤いのある緑を生かしたまちづくりを行う必要がある。 ・現在、新下関駅地区と、国道191号沿いの綾羅木駅地区を結ぶ道路については、少し離れた位置にある県道安岡港長府線と市道楠乃垢田線のみであり、渋滞がひどく、川中地区内の生活道路が通過道路として利用されている。また、本市の道路網計画においては、東西軸の強化が大きな課題となっているため、南北軸を形成する国道191号、主要地方道下関長門線を結ぶ都市計画道路長府綾羅木線の整備が急務となっている。 ・本地区内においては、H17年の豪雨により浸水被害が生じ、地域住民からの要望もあり、早急な整備が必要となっている。 	

将来ビジョン(中長期)	
<ul style="list-style-type: none"> ・2つの土地区画整理事業を実施することにより、都市機能の向上と安全で快適な生活空間の充実がなされ、本地区の基本目標である、SEAライフステージ(SAFTY:安全・ENERGY:活力・AMENITY:快適)の達成を図る。 ・第4次下関総合計画:川中地区: 国道191号沿線は沿道形商業・サービス業による利便性の高い市街地形成を図ります。 伊倉地区などにおいては、土地区画整理事業や都市計画道路の整備と併せて良好な住宅地の形成を図ります。 ・下関都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針: 都市計画道路長府綾羅木線:都市内骨格道路本都市計画区域の中央部を東西に連絡し、市街地部の外周道路となる道路として、(都)長府綾羅木線を位置づける。 川中土地区画整理事業および新下関西土地区画整理事業:現在事業を実施している主要な市街地開発事業として、市街地整備の目標に位置づけられている。 ・下関市都市計画マスタープラン:川中地区: 国道191号沿道地区については、すでに沿道商業・サービス業が立地していることから、今後とも商業・サービス施設の立地を促進し、利便性の高い市街地形成をはかります。 土地区画整理事業による宅地開発が活発に行われており、今後は、伊倉地区などにおいて、都市計画道路の整備とあわせて良好な住宅地の形成を図ります。 	

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
都市緑化率	%	区域面積における学校・公園・植樹帯などの面積割合	区域内に適切に学校・公園・植樹帯などを設置し、都市緑化を図り、良好な住環境を創設する。	6.2	16	11.5	22
区域内人口	人	当区域内の人口増加	土地区画整理事業等の市街地開発事業を行い、良好な宅地の供給を図ることにより、区域内の人口定住をはかる。	1,800	16	2,400	22
区域通過所要時間	分	地区の東西方向の両端より、区域内道路を通り、JR新下関駅から国道191号までを通過する所要時間	都市計画道路長府綾羅木線の整備促進により、区域内を通過にかかる時間を短縮することにより、地元住民の利便性の向上を図る。	10	16	6	22
狭隘道路延長	m	区域内にある狭隘道路(4m未満)の延長	災害時の避難や救助活動に支障となる狭隘道路の解消に努め、防災対策の充実を図る。	4,680	16	471	22
浸水区域	ha	大雨時における地区内の浸水面積	現施設では能力不足のため、新たな排水施設を構築し、浸水被害を解消する。	1.78	17	0	22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(緑を生かした快適住環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な住環境づくりの基盤整備を行うと共に、潤いのあるまちづくりのため、公園を整備するとともに、地域住民に憩いの場を提供する。 ・区域に隣接する二級河川綾羅木川沿い遊歩道への植栽を行うことにより、川沿いの土手の緑地と合わせ、潤いと安らぎを与える場としての環境を創出する。 ・中学校が、幼稚園、小学校及び公園・公民館の隣接地に移転することにより、公共・公益施設の集約を図り、通過交通と通学路動線の整理を行うとともに、歩行者、自転車の安全を確保し、利便性の高い文教・生活ゾーンを形成する。 ・浸水のない安心して暮らせる街環境を創造する。 	<p>土地区画整理事業(基幹事業)、公園(基幹事業)、地域生活基盤整備(基幹事業/広場・情報板)、高質空間形成施設(基幹事業/緑化施設等)、下関都市計画事業川中土地区画整理事業(関連事業、市)、下関新下関西土地区画整理事業(関連事業、組合)、下関市立川中中学校移転新築事業(関連事業、市)、浸水対策(提案事業)、一般県道新下関停車場稗田線 緊急地方道路整備(電共)事業(関連事業、県)、一般県道新下関停車場稗田線外 交通安全施設等整備(統合補助)事業 又は 一般県道新下関停車場稗田外 緊急地方道路整備(交安B)事業 (関連事業、県) (予定)</p>
<p>整備方針2(東西方向のネットワークの強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・3・9長府綾羅木線の整備を基幹として、区画道路を沿道宅地へのサービスや地区外既設道路との整合を図り円滑な交通体系の確立を図る。 ・土地区画整理事業により、既成市街地の更新と新市街地を創出する。 ・土地区画整理事業により、土地利用を誘導し、沿道サービスや快適な居住環境の整備を図る。 	<p>土地区画整理事業(基幹事業)、下関都市計画事業川中土地区画整理事業(関連事業、市)、下関新下関西土地区画整理事業(関連事業、組合)、一般県道新下関停車場稗田線 地方道路交付金事業(地方道路整備臨時交付金)(関連事業、県)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区域の隣接には2級河川綾羅木川があり、護岸には綾羅木川コスモス街道ジョギングコースが設置され、地域ぐるみ(川中小・中学校及びふるさと川中協議会等)で清掃・空き缶拾いやコスモスの苗植え・コスモス祭りなどが行われ、地域住民に潤いと安らぎを与える場として親しまれている。 	

